

広島市歯科医師会だより



10月号

一般社団法人広島市歯科医師会

HIROSHIMA CITY DENTAL ASSOCIATION

No. 150 (R1. 10. 15)

目次

今月のトピックス

クリスマスパーティーのお知らせ 1 ページ

行事報告

広島市歯科医師会創立 100 周年記念誌、広島モーターサイクルレース全史を寄贈... 2 ページ

広島市歯科医療福祉対策協議会 役員会 2 ページ

広島市歯科医療福祉対策協議会 総会 3 ページ

本会より長崎昭憲氏へ感謝状贈呈 4 ページ

役員自己紹介(有馬隆理事・若林大輔理事) 5 ページ

会長コラム『柔しく剛く』 7 ページ

支部だより

中区支部 8 ページ

東区支部 9 ページ

南区支部 12 ページ

西区支部 13 ページ

各部からの報告

妊婦歯科健康診査料の**変更のお知らせ**(地域歯科保健部) 14 ページ

今月の知っておきたいこと(広報部) 14 ページ

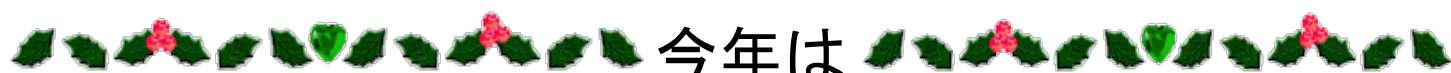
FM ちゅーピー(広報部) 17 ページ

9 月定例理事会報告 17 ページ

12月22日 Xmas Party

ANA クラウンプラザホテル広島

クリスマスパーティーのお知らせ



今年は
日本レコード大賞、全日本有線放送大賞、
日本歌謡大賞など多くの賞を受賞した
細川 たかしさん！！

例年通りお楽しみ抽選会も豪華景品を取り揃えてお待ちしております。

ご家族、スタッフの方々と是非お越し下さい。

巻末にチラシを同封しておりますのでご覧下さい。

申し込み方法につきましては後日お知らせいたします。



日 時：令和元年 12 月 22 日（日）正午

場 所： ANA クラウンプラザホテル広島

行事報告

広島市歯科医師会創立 100 周年記念誌、 広島モーターサイクルレース全史を寄贈

日時：8月29日(木)午後1時30分

場所：広島市歯科医師会「会長室」



手交する熊谷宏会長(左)と三保浩一郎氏(右)と高野和彦館長

広島市郷土資料館から本会創立 100 周年記念誌「広島のおくちの健康を支えて 100 周年～継承と飛躍～」及び南区支部会員三保浩一郎氏の著書「広島モーターサイクルレース全史」の寄贈を依頼され、8月29日、本会会長室において高野和彦広島市郷土資料館館長、川橋奈緒学芸員、本会から熊谷宏会長、瓜生賢副会長、能美和基専務理事、三保浩一郎氏が参加し、手交した。高野和彦館長から寄贈を依頼した経緯、熊谷会長から 100 周年記念誌発刊の意義等の説明があった。三保氏からは被爆建物でもある郷土資料館にはエレベーター設備がなく、2 階展示室に車椅子で上がれないとの取材時の経験談もあがった。郷土資料館

<http://www.cf.city.hiroshima.jp/kyodo/>

では郷土の書籍を収蔵しており、本会創立 100 周年記念誌も多くの市民が手に取ることとなるだろう。

高野和彦館長から郷土資料館刊行の「ひろしま 近代医学のあけぼの」、「広島競馬場」、「広島市民球場の記憶」、「明治時代の広島」、「大正時代の広島」を本会に寄贈して頂いた。特に「ひろしま 近代医学のあけぼの」は浅野藩以来の医学的史料がまとめられており、多くの会員に知ってもらいたい医療従事者必見の資料であった。郷土資料館では常設展示のほかに興味深い企画展を随時開催している。

広島市歯科医療福祉対策協議会 役員会

日時：8月31日(土)午後4時

場所：広島市歯科医師会「大会議室」

能美和基専務理事の開会の辞、熊谷宏会長の挨拶の後、標記の会が新役員になり開催された。平成 30 年度広島市休日等歯科救急医療事業、在宅訪問歯科健診・診療事業、妊婦歯科健康診査事業、節目年齢歯科健康診査事業の報告・議事事項の総会前の再確認が行われた。休日診療保険

請求における留意事項、平成 27 年度から平成 30 年度までの在宅訪問歯科健診・診療事業の中で患者数、依頼者等についての説明の後、この度の 8 月 15 日台風 10 号の広島接近に伴う交通機関の乱れの影響で担当協力医、スタッフの出務に困難をきたした経験から災害時規定と広島市

休日等歯科救急医療事業の 4 地区輪番制による負担分案
 について広島市から安佐・佐伯・安芸地区に提案説明があ

った。

最後に横畑裕之副会長の閉会の辞により終了した。

役 員			委 員	
職 名	氏 名	支 部	氏 名	支 部
会 長	熊谷 宏	広島市	波田 佳範	広島市
副 会 長	横畑 裕之	安 佐	香川 次郎	広島市
	新田 栄治	佐 伯	野村登志夫	広島市
	澤村 豊	安 芸	竹本 美保	広島市
	瓜生 賢	広島市	古谷 知之	広島市
専務理事	能美 和基	広島市	橋本 直典	広島市
理 事	若林 大輔	広島市	角田 達彦	広島市
	森本 慎樹	広島市	竹田 芳弘	広島市
	藤田 友昭	広島市	谷 徹範	広島市
	水内 裕之	広島市	前田 羊一	広島市
	有馬 隆	広島市	中川 誠	広島市
	大心池清和	安 佐	森川 英彦	広島市
	三島 幸司	安 佐	山木 博司	安 佐
	加島 弘之	安 佐	武田 泰三	安 佐
	栗栖 文夫	佐 伯	永田 将昭	安 佐
	藤井 宗仁	佐 伯	堀尾 弘治	安 佐
	兼池 宏治	佐 伯	大原 将史	佐 伯
	倉田 昌典	安 芸	河野 敦志	佐 伯
	山田 純	安 芸	藤田 裕樹	佐 伯
	福原 健治	安 芸	半澤 泰紀	佐 伯
監 事	椿田 直也	広島市	児玉 正治	安 芸
	世良田治彦	安 芸	高山 智行	安 芸
			藤井 良典	安 芸
			新谷 宏規	安 芸



役員会の様子

広島市歯科医療福祉対策協議会 総会

日時：8月31日(土)午後5時30分

場所：県歯会館6階「601・602会議室」

標記の会が新役員・委員により広島市域 4 地区歯科選出の委員出席のもと開催された。能美和基協議会専務理事による閉会の辞に続き、熊谷宏会長より、「新役員・委員の皆様へ本協議会の内容趣旨をご理解頂き、また、休日診療・訪問診療・妊婦健診・節目健診の 4 つの事業についても各地区へ戻った際にしっかりと周知頂きたい事を宜

しくお願いしたい。」との挨拶があった。

続いて議長及び副議長は、出席した委員の中から出席者の同意を得て、会長が各 1 名を指名するという規約に基づき、議長に波田佳範委員(広島市)、副議長に藤井良典委員(安芸)が選出された。その後議長・副議長により会が進行し、すべて原案通り承認可決された。

最後に横畑裕之副会長からも、「本協議会事業をご理解
頂き、各地区で周知頂きたい。」と再度のお願いの閉会の

挨拶で総会を終了した。

1 報告事項

- (1)平成30年度広島市休日等歯科救急医療事業 事業報告について
- (2)平成30年度在宅訪問歯科健診・診療事業 事業報告について
- (3)平成30年度妊婦歯科健康診査事業 事業報告について
- (4)平成30年度節目年齢歯科健康診査事業 事業報告について
- (5)その他

1 議事事項

- 第1号議案 平成30年度広島市休日等歯科救急医療事業収支決算について承認を求める件
- 第2号議案 平成30年度在宅訪問歯科健診・診療事業収支決算について承認を求める件
- 第3号議案 平成30年度妊婦歯科健康診査事業収支決算について承認を求める件
- 第4号議案 平成30年度節目年齢歯科健康診査事業収支決算について承認を求める件
- 第5号議案 その他の案件

1 協議事項



総会の様子(左)と 挨拶をする熊谷宏会長(右)

本会より長崎昭憲氏へ感謝状贈呈

日時：9月21日(土)午後1時30分

場所：ながさき歯科

本会会員であり日蓮宗長遠寺上人でもある長崎昭憲氏におかれましては、平成十二年より平成三十年までの長きにわたり本会主催の原爆死没者慰霊祭のご導師をお務め頂き、慰霊碑に眠る先達の御霊に真摯なる祈りをささげてこられた。また、会館移転に伴う慰霊碑移設の際にも、抜魂遷座式ならびに遷座入魂開眼式をご導師としてお取り計らい頂き、慰霊碑の移設にもご尽力頂いたが、昨年度を最後にご退任されるとのお申し出があり、本会としても大変残念ではあるが、ご本人のご意向を尊重し了承申し上げた。

そこでご退任にあたり、本会から熊谷宏会長と能美和基専務理事が表敬訪問し、会員を代表して感謝状と記念品を

贈り、これまでのご功勞に深甚なる感謝の意を表したところである。



左から能美和基専務理事、熊谷宏会長、長崎昭憲氏

役員自己紹介

有馬隆理事

3期目の学校保健担当を拝命いたしました有馬でございます。平素より本会学校保健事業運営につきまして格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、多少慣れてきてはおりますが、それでも年に数回は会務が「地獄」のように立て込みます。その意味では地獄の門をくぐること3回目、と言えるかもしれません。フランスの彫刻家ロダンはキリスト教三大文学の一つとされるダンテの「神曲」を題材として「地獄の門」というブロンズ像を数体製作しており、その一つが東京上野の国立西洋美術館に設置されています(写真、枠内は当時留学中の次女)。私は、この辺りに行った時は、ほぼ必ず、この巨大な像を正面から眺め上げ、そして、自撮りします(写真も)(笑)

そして、同じくキリスト教三大文学に数えられるミルトンの「失楽園」にも天国を追放されたサタンが地獄の門を通過する場面が描かれています。「^{きし}旗幟^{へんぼん}を翩翩とひるがえしながら、左右に翼を拡げ、散開した軍馬や戦車をともなった大軍が悠々と行進し、通り抜けることも、いともたやすいことのように思われた」そうですので、現物は相当な大きさと思われます。

門がある、ならば通ずる道もあるはず。「地獄への道は善意で舗装されている」という格言はベルナルドゥスの「地獄は善意や欲望で満ちている」が由来だそうです。「地獄に善意？」ですが、同三つめ、「ファウスト」(ゲーテ)の最初の方で、メフィストーフェレスは「常に悪を欲し、常に善をなす、あの力の一部分です。」と自己紹介します。キリスト教での地獄や悪魔はある種の「善」さえも包含しているのでしょうか。

今回、趣味のことなどについて書くように、とご指示いただき随分迷いましたが、上記のキリスト教文学に限らず読書を趣味として楽しんでいます。

任期中は「人生100年時代」を生き抜く子どものための学校保健の進展に努めてまいります。今後ともご指導ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。



若林大輔理事

会員の先生方には平素より大変お世話になっております。私は平成 22 年に広島市中区中町で開業し、平成 23 年に広島市歯科医師会公衆衛生部委員となって以来 4 期 8 年間、歴代の理事の先生方にご指導いただき、公衆衛生活動について色々勉強させていただきました。この度、地域歯科保健部の理事を拝命するにあたり、今までお世話になってきたことへの恩返しの気持ちで、広島市歯科会会員、及び地域住民のために精進したいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

簡単ですが自己紹介をさせていただきます。私は妻、長女(7 歳)、次女(2 歳)の 4 人家族です。以前は、夫婦で六甲山系や比叡



山など、関西の山をメインに軽登山を楽しんでいましたが、子供が

できてからはなかなか登山もできず(時々、山登り同好会に参加させていただいています)、かわりに家族でキャンプをするようになりました。「連休」になると中国地方をメインに、あちこちキャンプに行っています。キャンプはよく「不便を楽しむ」と言われていましたが、最近のキャンプはとても便利です。携帯のガスコンロや LED ランタン、モバイルバッテリーなど高性能の道具がたくさんそろっています。それでも自然の中で食べる食事はいつもに

も増しておいしく感じるし、川で魚やドジョウを捕まえたり、夏はカブトムシやクワガタムシを捕まえたり、夜は流れ星を観察したりと、童心に返って子供たちよりも自分が楽しんでいます。キャンプにはまりすぎて、とうとう真冬もキャンプにでかけるようになりました。それも大雪の日をねらってわざわざキャンプをします。もちろんホットカーペットと石油ストーブという快適アイテムを持参するのでテントの中はぬくぬくです。雪の中での野宿という非現実的な体験は、ちょっとした冒険をしているような気分になれます。なのになのに今回、理事職を拝命するにあたり休日救急を担当することになり、キャンプに行きにくくなってしまわないかと戦々恐々としております。先にも申しましたように「連休」は特に広島にいない可能性があるのです。休日救急が円滑に行われるよう、切にご協力をお願いして私の紹介とさせていただきます。今後ともよろしくお願いいたします。



会長コラム (第3回)

柔しく剛く

小松昭紀先生との思い出

熊谷 宏

8月8日、第27回広島県学校歯科保健研究大会が開催され、東京医科歯科大学名誉教授 黒田敬之先生により「学校歯科健診における咬合と口腔機能の問題」と題した講演が行われました。黒田先生は、昨年11月11日に急逝された小松昭紀本会元会長とは東京医科歯科大学サッカー部の先輩後輩であり、無二の親友であられた方です。小松先生ご逝去の報をお伝えした時に、電話口で号泣されたことを思い出します。今回の来広に際しては、小松先生の墓前にお参りになられたことをご報告いただきました。改めて小松先生のお人柄を偲び、思い出を綴ってみたいと思います。

小松昭紀先生は、私にとって高校・大学の先輩であり、入会した平成14年当時の本会会長でもありました。東京医科歯科大学歯科同窓会広島県支部・修道歯科医会などを通じて、公私とも本当にかわいがっていただきました。私を広島市歯科医師会会務に引きずり込んだのも(笑)小松先生です。

小松先生といえば、宴席での偉ぶらない愉快的振る舞いの中に、その場の状況に合わせて次々と繰り出されるウィットに富んだジョークの面白さは知る人ぞ知るところです。一方、歯科界(社会保障)のあり方に対しては常に深い思索を続けられる方でした。小松先生は多くの文献をレビュ

ーされ、そこから理論構築されて文章におまとめになられていました。ある時、「いろいろと書き溜めたものだ。熊ちゃんに渡しておくから読んでおきなさい。」と未発表を含む8編の論文をいただきました。

文献のレビューやデータの分析などを通じて理論構築し、それらを文章にまとめることで論拠をより精緻なものとすることが重要であることを、直系の後輩である私にお伝えいただいたものだと感じ、身が引き締まる思いがしたことを覚えていています。

お亡くなりになる9ヶ月前の先生のお誕生日前日、二人で飲みに行きました。

そして、午前0時を回り、82回目の誕生日の瞬間を一緒に迎えました。これが先生最後の誕生日になるとも知らずに。

小松先生は「品位と威厳のある歯科医師会」を目指しておられました。先生のご意思を継いで、誠心誠意広島市歯科医師会のために頑張ろうと改めて決意しています。



小松先生最後の誕生日を二人で

支部だより

中区支部

第17回災害時医療研修会

日時：9月4日(水)午後7時

場所：メルパルク広島5階「桜」



講師の平林晃氏と正岡亨中区医師会会長と
中区支部会員

標記の会が開催された。

辻中区医師会災害救急担当理事の司会進行の下、始めに平成30年7月豪雨災害にて犠牲となられた人たちに対して、黙祷が捧げられた。

続いての講演では「平成30年7月豪雨災害の経験—多職種連携の重要性—」という演題で、講師に平林晃安芸地区医師会救急医療委員会理事をお迎えした。内容は、平成30年7月豪雨災害の安芸地区医師会の対応について、7月6日の豪雨発生時から、災害対策本部立ち上げ、マツダ病院の被災者(救急搬送)の受け入れ決定、同院の受け入れ体制の確及び対策本部解散までを時系列で示し、説明さ

れた。また、安芸地区医師会総合介護センター、海田訪問介護ステーションの活動についても取り上げられた。最後に、安芸地区防災医療ネットワーク会議について報告があり、多職種連携の重要性が確認された。

被災することによって、対応などに様々な問題点、課題が浮き彫りになるが、決してそれは対岸の火事でないということを、再認識させられた。一方で、歯科領域で関与できるのは何か、その中で口腔ケアは当然ではあるが、他にも何かあるのではと考えさせられる一面もあった。この研修会には、波田佳範中区支部長、香川次郎副支部長、石田一輝氏、仁野克明氏、長谷川聰氏が出席した。

中区支部ソフトボールチーム中締め会

日時：9月18日(木)午後7時30分

場所：CLOVERS

標記の会が開催された。

今年の中区支部ソフトボールチームは、練習日における降雨や、講習会やイベントなどで満足な練習がこなせていないが、3名の若手有望新人を迎えるなどの明るい話題があり、例年以上の盛り上がりを見せている。

会の冒頭、波田佳範中区支部長からの挨拶の後、今回のソフトボール大会の規定について説明が行われた。引き続き関野憲三本会顧問による乾杯の音頭で宴が始まっ

た。

会が盛り上がる一方で、香川次郎中区副支部長は、選手の当日におけるバス利用の有無及び弁当の数の確認や、試合メンバーの選出などを行っており、縁の下の力持ちの働きをされていた。我々中区支部チームが所属するBクラスは、もともと地力に勝るAクラスからの降格チームと、力をつけてきたCクラスからの昇格チームが混在し、タフな試合が続いている。特に近年、広島市の他地

区チームは、たくさんの若手が参加し、力をつけてきており、対戦することになれば、苦戦は免れず、非常に厳しい試合になることが予測される。しかし、どんな苦し

い状況下でもまとまりをもって試合に臨み、参加者全員で試合を乗り切っていくことを誓った。最後に、香川副支部長の挨拶で、閉会した。



参加した中区支部会員

東区支部

令和元年度 第1回広島市歯科医師会東区支部会および納涼会

日時：8月24日(土)午後6時30分

場所：支部会：広島市歯科医師会「大会議室」

東区支部会および納涼会が標記の場所で開催され、22名の会員が参加した。本年7月より執行部が交代となり、竹本美保東区副支部長の司会進行のもと、野村登志夫東区支部長より挨拶に始まり、野村支部長、竹本副支部長、宮村健一会計、前島真紀子広報が紹介された。続いて、平成30年度会計報告が野村支部長より行われ、山村剛氏より監査報告がなされた。今年上半期の各行事について報告された後、今後の他職種連携会議や休日歯科救急医療実施歯

納涼会：「ふぐ料理と有機野菜 とく山」

科医療機関の年末予定、令和元年度の東区民イベント出務予定などについての説明と協力依頼が行われた。また、7月に中区より支部間移籍された山崎義之氏が紹介され、挨拶がなされた。その後、場所を移動して納涼会が行われた。野坂寛氏による乾杯で始まり、おいしいふぐ料理に舌鼓を打ちながら、和やかな雰囲気の中でお互いの近況報告し、会員の親交を深めた。最後に野村支部長の閉会の辞にて名残を惜しみながらの閉会となった。



支部会の様子(左)納涼会に出席した東区支部会員(右)

令和元年度 けあカフェ in 矢賀 II

日時：8月29日(木)午後2時

場所：矢賀中央集会所

認知症研修会が標記の場所で開催された。主催は広島市東区地域保健対策協議会、広島市東区医師会、広島市認知症地域支援推進員で対象者は医師、歯科医師、薬剤

師、介護支援専門員、地域包括支援センター、健康長寿課、認知症地域支援推進員および地域の各種団体であり、参加者は総勢54名(東区支部より野村登志夫氏が参加)

であった。福田知枝広島市認知症地域支援推進員の司会で始まり、豊島仁認知症サポート医・豊島医院院長が「認知症の理解と矢賀地区で認知症高齢者を治療して気がかりなこと」という題目で講演を行った。高齢化の進展により2060年には5人に1人が認知症と予測されている。認知症の治療の現状やその将来性、また具体的な3つの事例から、本人や家族だけでなく近隣住民の理解が必要であるという説明があった。続いて広島市二葉包括支援センターの小川智美氏より矢賀地区の認知症に関する取り組みの実例が紹介された。その後グループワークでそれぞれの立場からみた認知症高齢者に必要なもの(こと)

が話し合われた。豊島仁認知症サポート医・豊島医院院長の総評の後、最後に太田正憲矢賀学区連合町内会会長の挨拶で閉会した。



研修会の様子

令和元年度 第1回フェイスネット「TRITRUS」講習会～入門編

日時：9月2日(月)午後7時

場所：広島市医師会館3階「視聴覚室」

西区観音本町にある広島市医師会館にて広島市東区地域対策協議会(東区地対協)および広島市東区医師会共催の標記の会が開催された。永田秀之東区地対協理事の司会で始まり、佐藤修治東区地対協会長の挨拶、その後森下学カナミックネットワーク主任を講師として講演が始まった。

医療・看護・介護・自治体といった多職種間の垣根を越えた情報共有を容易にし、地域包括ケアを実現するためのクラウドサービス(カナミック社のTRITRUS)として、千葉県柏市の柏モデルや亀田総合病院でも運用されている。今年で6年目となるこの講習会では、医師、歯科医師(本会東区支部から野村登志夫氏が参加)、看護師、訪問介護福祉士など総勢約32人が参加した。今回は主

に初めての連携参加者のための入門編であり、システムの基本操作説明を受けた後に、ハンズオンとして各自が入力操作の実践練習(ケアレポートの書き込み、検索など)を行った。最後に金谷雄生東区地対協副会長が閉会の辞を述べ、閉会した。



講習会の様子

令和元年度 牛田地区けあカフェ

日時：9月12日(木)午後2時

場所：牛田集会所2階「ホール」

認知症研修会が標記の場所で開催された。主催は広島市東区地域保健対策協議会、広島市東区医師会、広島市

牛田・早稲田地域包括支援センターおよび広島市認知症地域支援推進員で対象者は医師、歯科医師、薬剤師、介

護支援専門員、地域包括支援センター、健康長寿課、認知症地域支援推進員、女性会、民生委員、薬学部学生であり、参加者は計 32 名であった。東区支部からは坂井理奈子氏、高島宏氏、野村登志夫氏が参加した。福田知枝広島市認知症地域支援推進員の司会で始まり、井門ゆかり認知症サポート医・脳神経内科医・井門ゆかり脳神経内科クリニック院長が「認知症の基礎知識」という題目で講演を行い、認知症の病態、早期発見の必要性和その治療方法について説明された。その後「認知症の人を支えるために地域で何が出来る？」と題したグループワークが行われ、認知症の人が住み慣れた地域で周囲とつながり、行き場を持つ必要性についてそれぞれの立場から意見交換を行った。井門ゆかり脳神経内科クリニック院長の総評の後、福田知枝広島市認知症地域支援推進員

より広島市が発行している「認知症あんしんガイドブック」の活用方法についての説明が行われ、石村恵子牛田地区民生委員の挨拶で閉会した。



研修会の様子

東区多職種連携の会～ひがしの絆～

日時：9月13日(金)午後7時

場所：広島モノリス

東区多職種連携の会～ひがしの絆～が標記の場所にて東区地域保健対策協議会と広島市東区医師会の共催で開催された。参加者は東区医師会の医師 26 人、本会東区支部及び安芸歯会東区ブロックの歯科医師 9 人(東区支部より加藤正昭氏、木村太言氏、坂井理奈子氏、高島宏氏、寺迫環氏、竹本美保氏、能美和基氏、野村登志夫氏が参加)、広島市薬剤師会の薬剤師 6 人、地域連携室・病院関係者 19 人、東区地域保健対策協議会事務局より 2 人、地域包括支援センターより 8 名、ケアマネジャー等 27 人、訪問看護師 20 人、東区役所職員 10 人の 130 人が参加した。

満田一博東区地対協理事の司会により開会し、佐藤修治東区地対協会長(東区医師会会長)、古川智之広島市健康福祉局長のあいさつに始まり、篠原富子東区地対協副会長(広島市東区長)より東区地域共生社会の実現に向けたネットワーク会議である介護予防・生活支援ネットワーク「東区地域支えあいリスト」の運用開始についての説明があった。次に、金谷雄生東区地対協副会長を座長に、最近特に注目を集めている ACP(Advance Care

Planning)への関わり方について、広島市東区医師会より住吉秀隆理事、広島市歯科医師会東区支部・安芸歯科医師会より野村登志夫氏、広島市薬剤師会より岩本義浩理事・東区支部長、東区訪問看護ステーションよりの場聡子太田川病院訪問看護ステーション所長、東区ケアマネジャー自主勉強会より久浦芳子副会長、東区地域包括支援センターより久保美穂子戸坂地域包括支援センター長、東区役所地域支えあい課より行廣律江地域支援第一係課長補佐が報告を行った。

阪谷幸春広島市健康福祉局保健医療担当局長の来賓挨拶の後、飯島大介東区ケアマネジャー自主勉強会会長の乾杯により懇親会が開宴された。途中、地対協メンバーによって結成されたACP48によるACPの普及寸劇が催され、会場は大いに盛り上がった。この寸劇は今秋の東区市民公開講座でも上演される予定となっている。各テーブルでは多職種間の意見交換が活発に行われ盛況のうちに堀内賢二東区地対協副会長(東区医師会副会長)の閉会の辞により閉会となった。



参加した東区支部会員

南区支部

令和元年度 南区在宅医療・介護関係者研修会・連絡会

日時：8月27日(火)午後7時

場所：広島市南区役所別館4階「大会議室」

広島市南区地域保健対策協議会の主催により、標記の会が開催された。

中谷玉樹南区地域保健対策協議会理事の司会進行の下、半田徹南区地域保健対策協議会会長の開会挨拶があり講演が始まった。吉川峰加広島大学大学院医歯薬保健学研究科先端歯科補綴学准教授、浜井行夫医療法人社団石田耳鼻咽喉科医院院長をお招きし、「在宅での摂食・嚥下障害ケア」をテーマに、「摂食嚥下障害に対する歯科的アプローチ」や「嚥下機能低下が疑われる方への支援について」の講演が行われた。

講演では、嚥下障害における器質的・機能的障害についての説明や、誤嚥性肺炎の兆候、それらを防ぐための観察の目安、予防について等が詳しく解説された。

また、訪問介護ステーション管理者会議や訪問介護事業者連絡会から寄せられた質問では、摂食の介護における体勢や、食事介護におけるむせや頬張りに対する対応、食事形態についての疑問にも、分かりやすく具体的な内容がアンケート形式で配布された。



講演をする吉川峰加准教授

広島市南区役所厚生部健康長寿課保健予防係主催 介護予防教室

日時：9月19日(木)午後2時

場所：元宇品会館

広島市南区役所厚生部健康長寿課保健予防係主催の介護予防教室が開催され、中川誠地域歯科保健部副委員長が

「おいしい食事はお口の健康から」と題して元宇品地区の60～80代の地域住民45名に対して講演を行った。

講演では、主に舌の運動機能の維持・向上が摂食嚥下機能の維持・改善や誤嚥性肺炎の予防に有効であることを解説した。また舌圧測定器にて舌の筋力が数値として把握できるようになったことを解説した。舌の筋力のトレーニング方法としてペコぱんだを使用したものがあり、出席者全員で舌圧トレーニングを行った。参加者からは、普段使っていない舌や口腔周囲の筋肉へ負荷がかかっていると実感した、との声が聞かれた。美味しく食事ができるためのお口の健康維持には虫歯や歯周病のケアだけではなく、舌

や筋力・唾液といったお口周りの機能の維持も重要となってくることを説明した。

広島市歯科医師会地域歯科保健部は介護予防教室で舌圧測定器やペコぱんだを活用することによって、通所口腔ケアサービス利用のきっかけにする取り組みを行っている。今後、このような教室において、口腔機能の維持・向上が健康寿命の延伸につながることを周知することでさらに効果的なものになり、高齢者がフレイルに移行しないために同サービス利用につながることを期待する。

西区支部

令和元年度 支部会と暑気払い

日時：8月24日(土)午後7時

場所：ANAクラウンプラザホテル広島「ルーフトップビアガーデン」

曇り空の下参集した出席者を前に、角田達彦西区支部長を議長として西区支部8月例会が執り行われた。報告事項として11題、協議承認事項として3題が取り上げられた。

引き続き、暑気払いとなり、今井多聞前西区支部長が乾杯の音頭を取って和気あいの会食が始まった。食べ放題・飲み放題と意気込んでいたとたん激しい雨に見舞われ、ホテル提供の傘を手にバーベキューの煙にかすむ中、会員同士、話に花が咲いた。午後9時、角田支部長の挨拶でお開きとなり、「これも思い出」と帰途に就いた。



参加した西区支部会員

令和元年度 第1回 観音認知症応援団 「当事者の気持ちに寄り添うために」

日時：9月12日(木)午後2時

場所：生協けんこうプラザ5階「多目的室」

西区観音町の生協けんこうプラザにて、令和元年第1回観音認知症応援団が開催され、80数名が参加した。西区支部からは、竹田芳弘副支部長、岡田浩幸氏、濱岡代枝氏、平尾慶太氏、山崎香氏の5名が参加した。

観音認知症応援団は平成29年より、観音中学区の先生方や専門職、民生委員の方々等の参加により、認知症についてともに学び理解を深め、連携しやすい関係づくりに取り組んでいる。

今年度は軽度認知障害に焦点を当て、当事者の思いを知ることに対応力や地域の力をつけていくことを目標にかけ、「当事者の気持ちに寄り添うために」と題して、広島市西部認知症疾患医療センターの岡田眞理氏による講演が行われた。

認知症患者の入野輝雄さん(79)からの生の声を伺うことで、診断初期の“思い”や“つらさ”を理解して、どんなこ

とが必要なのか私達に何ができるのかグループごとにディスカッションした。

4年前、75歳で初期の「アルツハイマー型認知症」と診断を受けた入野さんの経験から「早期発見・早期治療」の大切さ、治療薬だけでなく、症状の進行を遅らせるためには趣味や運動を楽しみ、認知症カフェなどいろいろな場所にでかけ、多くの人と交流することで夢や希望を持って楽しく過ごすことも大切であるというお話を頂いた。

また、入野さんの本音の“思い”や“つらさ”を伺い、たいへん有意義な講演会となった。



講演会の様子

各部からの報告

地域歯科保健部

妊婦歯科健康診査料の変更のお知らせ

10月より妊婦歯科健康診査の単価が消費税、診療報酬、郵送料等の値上げに伴い

広島市	4,808円→5,045円
府中町	4,719円→4,807円
廿日市市	4,389円→4,961円

となりました。また、坂町は4,473円、海田町は4,473円で変更はありません。節目年齢歯科健康診査は健診単価の変更はありません。

広報部

記事の詳細確認は自己責任にてリンク先をお願いします。

最新記事はホームページにてご覧ください。各記事のQRコードをスマートフォン等で読み取っていただければ、該当記事のページにアクセスできます。(リンク切れはご容赦願います。)

今月の知っておきたいこと

▼全世代型社会保障制度の実現めざし議論スタートへ

NHK NEWS WEB (2019年9月13日)

<https://www3.nhk.or.jp/news/html/20190913/k10012079771000.html>

全世代型社会保障制度の実現に向け、政府は、司令塔となる新たな会議を来週にも開き、議論をスタートさせます。少子高齢化で社会保障費が膨らむ中、負担増も伴う抜本的な改革の議論をどう進めていくかが焦点です。急速な少子高齢化で社会保障費が増え続ける中、安倍総理大臣は、「新しい社会保障制度の在り方を大胆に構想する」として、改革の司令塔となる「全世代型社会保障検討会議」を新たに設置することにしています。(中略) 具体的には、意



欲のある高齢者が働き続けることができるよう、70歳までの就業機会の確保や、パートで働く人などへの厚生年金の適用範囲の拡大などが検討されます。一方、医療分野では75歳以上の後期高齢者の病院などでの窓口負担を原則1割から引き上げるかどうかや、介護分野では、原則1割となっている介護サービス利用者の自己負担を引き上げるかどうかなど、給付と負担の見直しもテーマとなる見通しです。

▼5歳児30人から唾液を採取／渡部教授にイグ・ノーベル賞

共同通信(2019年9月13日)

<https://this.kijji.is/545023564251972705>

【ケンブリッジ共同】ユニークな科学研究などに贈られる「イグ・ノーベル賞」の授賞式が12日、米マサチューセッツ州ケンブリッジのハーバード大で開かれ、30人の5歳児から唾液のサンプルを集めて1日の分泌量を調べた明海大保健医療学部の渡部茂教授（68）らの研究チームが化学賞を受賞した。日本人のイグ・ノーベル賞受賞は13年連続。（中略）授賞対象となった論文は、渡部教授が北海道医療大歯学部准教授だった1995年に同僚らと執筆した。

時事ドットコム 5歳児の唾液でイグ・ノーベル賞＝日本人、13年連続



<https://www.jiji.com/jc/article?k=2019091300247&g=int>

【ケンブリッジ（米東部マサチューセッツ州）時事】

5歳児30人を対象にした研究は渡部氏が北海道医療大学歯学部（北海道当別町）の助教授時代、同僚だった今回の共同受賞者であるいずれも歯科医の大西峰子、今井香、河野英司、五十嵐清治各氏とともに、1995年に専門誌に掲載された。授賞式には渡部氏と約30年前に被験者となった渡部氏の息子3人が出席して当時の研究を実演、会場は爆笑に包まれた。息子の一人は、授賞式後、記者団に「黙々と（実験に）協力した印象しか覚えていない。（受賞に）つながるとは想像もしなかった」と語った。（中略）渡部氏は受賞に「自分としては、まじめな生理学的な研究と思ってやっていたが...」と語った。

ニュースピックアップ

▼口の中の菌が発がん物質をつくっている？

メディカルトリビューン 2019年8月16日

<https://kenko100.jp/articles/190816004913/#gsc.tab=0>

近ごろ、口腔細菌（口の中に生息している細菌）がさまざまな病気と関連していることが分かってきた。中でも、歯周病菌は早産や生活習慣病、大腸がんなどに関するとの報告がある（関連記事参照）。



◎発がん性物質のアセトアルデヒド(ACH)と舌の表面に生息する細菌数の関連に注目し、「口の中のACH濃度は、舌表面に生息する特定の細菌と関連している」との仮説を立てた研究だそうです。果たして、口腔内細菌が多いほど、ADHが多く発がんリスクへと結びつくのか？

▼注目、バクテリアセラピー 善玉菌摂取し口腔ケア

産経ニュース 2019年8月1日

<https://www.sankei.com/life/news/190723/lif190723008-n1.html>

歯周病を放置すると、歯や口の中だけでなく、動脈硬化をはじめ全身にさまざまな悪影響を及ぼすことが最近の研究で分かってきた。100歳まで生きることが当たり前となりつつある中、健康寿命を全うするためには口腔（こうくう）ケアが重要となるが、通常のケアにプラスして、意図的に善玉菌を摂取して口内の健康を後押しするバクテリアセラピーの考え方が出てきている。



◎ロイテリ菌の話題です。筆者は、ロイテリ菌が歯周病菌や虫歯菌などの悪玉菌を抑制することをあげ、このロイテリ菌の摂取の方法として、トローチタイプのサプリメントやヨーグルトなどがあります。また摂取の上で大事なポイントは「善玉菌とはいっても、口の中が汚れては増やすことができないので、摂取前に歯磨きやクリーニングをしっかりと行うこと」としています。口腔ケアの基本は、ブラッシングというのは間違いないことですね。

▼「自分は健康」9割弱 指標は低水準 予防意識の高揚課題

福島民報 2019年8月17日

<https://www.minpo.jp/news/moredetail/2019081766386>

福島民報社が七月に行った世論調査で自身の健康状態について心身とも「健康だ」と考えている県民は60・3%で、「ほぼ健康だ」の28・5%と合わせると88・8%に上った。一方で福島県の健康指標は全国水準に比べて低迷しており、専門家は「生活習慣病は症状が進行するまで気付にくい」として、予防や健康維持の意識を個人と社会全体で高めるべきだと指摘する。



◎約9割の人は自分が健康だと思っているようです。自覚症状がないと健康だと思うのは無理のない事でしょう。病気というのは症状が出てから気付いた場合は、かなり進行している場合が多いです。歯周病やカリエスも自分で気付いたときはかなり進行しています。歯科検診の重要性を周知していく必要があります。

▼がんだけ破壊 ウイルス治験…東大と信大 オプジーボと併用も

yomiDr 2019年8月28日

https://yomidr.yomiuri.co.jp/article/20190828-0YTE150008/?catname=news-kaisetsu_news

がん細胞だけを破壊するように遺伝子を組み換えたウイルスを使い、皮膚がんを治す治療法の医師主導の治験（臨床試験）を9月にも始めると、東京大と信州大が発表した。



◎現在のがん治療は「つらい、苦しい」というイメージが付きまといまいます。今回の研究では遺伝子組み換えを行ったヘルペスウイルスを用いるそうですがはたして苦痛が軽減されるのでしょうか。

▼ALSの病態分子 TDP-43 が、インスリン分泌機構にも関与することを発見 一名大ら

医療 NEWS 2019年8月5日

http://www.qlifepro.com/news/20190805/als-andbclid=IwAR0igVbOHIYsS_ebYcZlCIImxm_o433jQYXk-RvfShcc1s52gqMOjvIXGOLI

ALS患者で起こる糖代謝異常の原因は不明だった。名古屋大学は7月30日、難治神経変性疾患のひとつである筋萎縮性側索硬化症(ALS)は、病初期からインスリン分泌能が低下することを見つけ、ALS患者の膵臓にあるβ細胞の核においてALSの病態分子であるTAR DNA-binding protein of 43kDa(TDP-43)が喪失していることを見出し、さらに、TDP-43が電位依存性Caチャネル(CaV1.2)の転写活性を調整することによってインスリン分泌を制御していることを明らかにしたと発表した。



◎以前よりALS患者では血糖値が高くなることが知られていました。今回の研究成果からALSのみならず糖尿病のメカニズム解明につながるかも知れませんね。

▼15億人が悩む神経障害性疼痛の痛みの原因物質を特定 ～新規鎮痛薬の開発に期待～

日本の研究.com 2019年8月9日

<https://research-er.jp/articles/view/81497>

大阪大学大学院医学系研究科分子神経科学の藤田幸准教授、山下俊英教授(分子神経科学)らの研究グループは、神経の異常な興奮で起こる痛みである神経障害性疼痛において、痛みの伝達に重要である脊髄後角でFLRT3タンパク質の発現が増加し、痛みを増幅させることを動物モデルで発見しました。



◎FLRT3の発現を抑制することで、高い有効性と安全性を両立させた画期的な疼痛治療薬の開発が期待されます。一日も早い創薬を実現してほしいですね。

▼遺伝子治療薬初の適用 医療保険、血管詰まる病気

産経ニュース 2019年8月28日

<https://www.sankei.com/life/news/190828/lif190828025-n1.html>

中央社会保険医療協議会(厚生労働相の諮問機関)は28日、国内初の遺伝子治療薬「コラテジェン」の公的医療保険適用を了承した。血管が詰まり、脚などが壊死(えし)する「慢性動脈閉塞(へいそく)症」の患者が対象で、遺伝子治療薬への保険適用は初となる。9月4日にも適用開始となる。



◎「コラテジェン」は国内初の遺伝子治療薬です。この治療薬を患者の筋肉に注射し、血管が詰まった部分の周囲で働かせ、新たな血管を作らせることで、動脈閉塞の改善を期待します。1回当たりの公定価格は60万円で、患者1人に対し2~3回使用することが想定されています。高額の治療薬の公的保険適用については、多くの議論がなされています。財政面も含め、慎重に検討していかなければならないかと思えます。

▼のどに骨が刺さったら

NHK NEWS WEB 2019年9月6日

https://www3.nhk.or.jp/news/html/20190906/k10012066941000.html?utm_int=nsearch_contents_search-items_005

それが当たり前だと思っていました。そう言われて育ち、大人になりました。幼い子どもたちにも伝えてきました。「魚の骨がのどに刺さったら、ごはんをたくさん飲み込めばいい」って。



◎昔から魚の骨がのどに刺さったらご飯をたくさん飲み込んだらいいと言われていましたが、逆に骨が粘膜に深く突き刺さってよくないそうです。肉眼で見えない位置に刺さった場合は、専用の器具がないと取れないため、耳鼻咽喉科を受診するのがいいそうです。歯科ではかつて魚骨除去という処置項目もありましたが、歯科よりも耳鼻咽喉科を推奨しているようです。

▼飲食店の無断キャンセル「逃げ得」許さん 防衛策が続々

Yahoo NEWS 2019年8月21日

<https://headlines.yahoo.co.jp/hl?a=20190821-00000510-san-soci>

飲食店などで予約した客が連絡せずに来店しない「無断キャンセル」。見込んでいた売り上げを失ったり、準備した食材や人件費が無駄になったりするリスクがあり、業界では「No Show」(ノーショー=姿を現さない)と呼ばれ、強く警戒されている。



◎経済産業省によると、飲食店の予約のキャンセルによる被害額は約1.6兆円におよぶとのこと。無断キャンセルで発生した被害分を弁護士が代行回収するサービスが出来たそうです。弁護士が無断キャンセル問題に関わることで被害の抑止を狙っているようです。歯科でもキャンセルは大きな損害となるため、対策が必要かと思われます。

▼100歳以上の高齢者 初の7万人超 女性が88%占める

NHK NEWS WEB 2019年9月13日

https://www3.nhk.or.jp/news/html/20190913/k10012080061000.html?utm_int=nsearch_contents_search-items_005

全国の100歳以上の高齢者は、過去最多の7万1000人余りとなり、初めて7万人を超えたことが厚生労働省の調査で分かりました。厚生労働省は敬老の日を前に、今月15日の時点で100歳以上となる高齢者を住民基本台帳をもとに調査しました。



◎人生100年時代という言葉も最近よく聞かれますが、人間の寿命と同じく、歯の寿命も長くなる必要があります。長生きすればするほど歯を失うリスクが上がります。歯を長持ちさせてQOLの高い生活を送れるようになるためには、これまでに以上に歯科が重要となると思われます。

▼中高年ひきこもり 全国で支援…民間7団体 情報共有

yomiDr 2019年8月26日

https://yomidr.yomiuri.co.jp/article/20190826-0YTE150014/?catname=news-kaisetsu_news

中高年のひきこもり問題に取り組む七つの民間団体が24日、全国での支援に乗り出そうと、新団体「全国家族・市民の会エスポワール」（京都市）を発足させた。



◎引きこもりはもはや若者の専売特許ではないようです。「8050問題」とはどんな問題なのか。どうやら歯科でいう「8020運動」のように希望が持てるものではないようです。

▼祖父母の薬、保管に要注意 孫の誤飲招く恐れ 米調査

産経ニュース

2019年9月10日



<https://www.sankei.com/life/news/190910/lif190910019-n1.html>

孫が近くにいるときは薬の保管場所にもっと気を配って。米シガン大のチームが実施した米国の高齢者らの全国調査で、祖父母の多くが自分の薬を、孫の誤飲を招きかねない場所に保管していることが明らかになり、チームが注意を呼び掛けた。

◎米国では毎年何千人もの子供が薬の中毒で救急治療を受けるということですが、その40%近くは、祖父母の薬の誤飲によるものです。今回の調査で、祖父母の多くが自分の薬を孫の誤飲を招きかねない場所に保管していることが明らかになり、調査チームが注意を呼び掛けました。日本においても、薬の保管について参考にし、検討していかないとはいけません。

FM ラジオ「FM ちゅーピー76.6MHz」



FM ラジオ「FM ちゅーピー76.6MHz」サイマルラジオスタート

「お口の健康広場デンタルパーク」 広島すまいるパフェ 第1・3水曜日午後0時50分から

10月2日放送分

「広島キッズ歯科医院について」

広島市歯科医師会 藤田友昭理事

10月5日(土)に県立広島産業会館で職業体験イベント「広島キッズシティ2019」が開催され、広島市歯科医師会は「広島キッズ歯科医院」ブースを出展します。今週は広島市歯科医師会の理事、藤田友昭さんがブースの内容について説明します。歯科医師の仕事体験や白衣での記念撮影ができます。歯科医院の機械を使って色々な体験をしてみましょう。希望者は指の模型も作れます。

10月13日放送分

「子どもの歯医者さん無料体験」

広島市歯科医師会 花岡宏一理事

10月19日(土)、20日(日)にある「ぼるフェス」で広島市歯科医師会がシャレオ中央広場でブース展示をします。歯の模型に、診療で使用する材料で詰め物をする歯医者さん体験ができます。幼児から中学生までが対象で予約不要、無料です。歯科医師の花岡宏一さんが解説します。

9月定例理事会報告

「部外報告」

- 8月20日 国保連合会歯科再審査部会
- 8月20-26日 社会保険診療報酬支払基金審査(合議26日)
- 8月21-25日 国保連合会歯科審査部会
- 8月24日 国保連合会歯科審査部会懇親会
- 8月28日 休日診療レセプト点検
- 〃 令和2年度圏域地対協研修会打合せ会
- 8月29日 広島郷土資料館へ記念誌の寄贈・手交
- 〃 (県)歯科医師国保組合理事会
- 8月31日 広島市歯科医療福祉対策協議会役員会・総会
- 9月4日 社会保険診療報酬支払基金再審査
- 9月8日 休日歯科救急医療説明会(歯科衛生士会)
- 9月9日 (県)社会保険指導者研修会(東京)

- 9月10日 (県)歯科医師国保組合理事会
- 9月11日 東区役所との会談
- 9月12日 第191回日本歯科医師会臨時代議員会
- 〃 (県)保険部常任委員会
- 9月13日 滅菌事業公告
- 9月18日 (県)税務指導者協議会懇親会
- 〃 広島テレビ取材
- 〃 国保連合会歯科再審査部会
- 9月19日 滅菌事業入札
- 9月19-23日 国保連合会歯科審査部会
- 9月20日 会員面談
- 9月21-25日 社会保険診療報酬支払基金審査(合議25日)
- 9月24日 滅菌事業開札・落札
- 〃 会員面談

- (連盟関係)**
- 8月23日 「ゆざき知事を囲む県政懇談勉強会
2019年8月度」
- 9月6日 山田春男君の広島市議会議長就任を
祝う会
- 9月9日 平口ひろし君を励ます会
- 「総務関係」**
- 8月21日 第3回支部長・副支部長会
- 8月23日 地域歯科保健部署気払い
- 8月29日 広島市歯科医師会保険講習会
- 9月14日 三役会
- 9月21日 長崎先生に感謝状手交
- 9月24日 三役会
- 9月25日 定例理事会
- (慶弔関係)**
- 8月8日 東区支部 古宅康久先生ご母堂様ご逝去
- 9月3日 中区支部 中井弘毅先生ご令室様ご逝去
- (入会退会関係)**
- 8月28日 入会前面談(光山素夫先生)
- 9月4日 入会前面談(河島紘太郎先生)
- (県歯理事会関係)**
- 9月6日 県歯理事会
- (1) 総務部 (森本理事)**
- 8月27日 広島市医療安全推進協議会
- 8月28日 休日診療レセプト点検
- 〃 入会前面談(光山素夫先生)
- 8月29日 広島市歯科医師会保険講習会
- 8月31日 広島市歯科医療福祉対策協議会
役員会・総会
- 9月2日 会員面談
- 9月4日 入会前面談(河島紘太郎先生)
- 9月12日 (県)保険部常任委員会
- 9月13日 定例委員会
- 9月18日 (県)税務指導者協議会
- 9月21日 「労働安全衛生法に基づく歯科特殊
健康診断の研修事業」研修会
- 〃 会員面談
休日歯科救急医療の請求業務について
- (2) 学術部 (花岡理事)**
- 8月27日 HOMEぽるフェス担当者との打合せ
- 9月13日 定例委員会
- 9月19日 FMちゅーピー収録
- (3) 厚生部 (谷理事)**
- 8月20日 定例委員会
- 8月31日 広島市歯科医療福祉対策協議会総会
- 9月1日 厚生部外部臨時委員会
- 9月13日 定例委員会
- (4) 地域歯科保健部**
- 8月21日 (県)地域保健部、学校保健部常任委員会
- 8月22日 FMちゅーピー収録
- 8月23日 定例委員会

- 8月31日 広島市歯科医療福祉対策協議会
役員会・総会
- 9月11日 (県)地域保健部、学校保健部常任委員会
定例委員会
- 9月19日 定例委員会
- <学校保健> (有馬理事)**
- 8月22日 第64回中国地区学校保健研究協議大会
- 8月27日 (南区地对協)令和元年度南区在宅医療・
介護関係者研修会連絡会
- 9月19日 (県)第43回中国地域口腔公衆衛生協議会
新任学校歯科嘱託医研修会
- 9月20日 新任学校歯科嘱託医研修会
- <地域保健> (若林理事)**
- 8月21日 障害を理由とする差別の解消に向けた
意見交換会
- 8月26日 元気じゃけんひろしま 21(第2次)
- 8月27日 広島市障害者差別解消支援地域協議会
(令和元年度第2回)
- 9月5日 事業所健診打合せ(三菱電機)
- 9月8日 休日歯科救急医療説明会(歯科衛生士会)
- 9月21日 (県)「労働安全衛生法に基づく歯科
特殊健康診断の研修会事業」研修会
協議会対応
- 9月23日 協議会対応
- <地域連携> (藤田理事)**
- 8月22日 西区地域ケアマネジメント会議
- 8月24日 己斐・己斐上包括センター主催介護予
防拠点講演
- 8月28日 令和2年度圏域地对協研修会打合せ会
- 9月1日 介護予防事業に携わる専門職のための
基礎研修会
- 9月3日 令和元年度広島市在宅医療・介護連携
推進委員会第1回「摂食嚥下・口腔ケ
ア対応力向上に向けた多職種連携の体
制づくりの検討」専門委員会
- 9月13日 「広島キッズシティ 2019」店長ボラン
ティア会議
- 9月18日 県立広島病院地域連携歯科懇談会打合
せ会
- (5) 広報部 (水内理事)**
- 8月22日 FMちゅーピー収録
- 8月23日 南区支部ソフトボール団結式
- 8月24日 広島県警察歯科医会研修会
- 8月29日 広島市歯科医師会保険講習会
- 8月31日 広島市歯科医療福祉対策協議会
役員会・総会
- 9月2日 校正委員会
- 9月17日 情報調査委員会
- 9月19日 FMちゅーピー収録
- FMちゅーピー (新聞掲載)**
- 10月2日 「広島キッズ歯科医院について」
広島市歯科医師会理事
藤田 友昭氏
- 10月13日 「子どもの歯医者さん無料体験」
広島市歯科医師会理事
花岡 宏一氏

(6) 広島市歯科医師会ホームページについて

ホームページアクセス数
一般サイト 訪問者 1,839 (累計 136,589)
ページビュー 8,982 (累計 451,717)
会員サイト 訪問者 177 (累計 28,060)
ページビュー 698 (累計 212,922)
広報部 … Talking Heads<最新情報>
掲載件数 28 件(8/16~9/20)

(7) 特別委員会

(8) 救急蘇生委員会

(9) 歯科医療安全相談

8月23日 苦情 歯科治療について (60歳代女性)
9月9日 相談 就業規則について
(20歳代歯科衛生士)
9月11日 相談 治療方法について (50歳代男性)
9月21日 苦情 歯科医師の対応・態度について
(40歳代男性)

「協議事項」

- (1) 会費について (2名)
終身会員資格取得による会費額変更について
2名承認
- (2) 入会について (3名)

- 中区支部3名について継続審議中
- (3) 広島市歯科医師会謝礼及び招聘旅費に関する内規について
改正案について協議・承認
 - (4) 学術講演会について
内容について協議
 - (5) 広島東洋カープ観戦の集いチケット譲渡について
内容について協議
 - (6) 令和2年度学校歯科医協議会の講師選定について
内容について協議
 - (7) 太田川 巻頭言・特集・提言 次回予定者について
内容について協議
 - (8) 広島市歯科医師会だよりについて
内容について協議
 - (9) 消費税増税に伴う変更について(会議室使用料等)
内容について協議、会議室使用料について承認
 - (10) 水銀に関する水俣条約について
対応について協議
 - (11) 軽減税率への対応について
対応について協議
 - (12) その他
なし

「その他」

特になし

会員の皆様へ

広島市歯科医師会だよりに関するご意見やお問い合わせは、各記事に担当部がある場合は、担当部の理事あてにお願いします。それ以外については、広島市歯科医師会事務局ないしは広報部担当理事水内裕之までお寄せ下さい。

広島市歯科医師会事務局 E-Mail: hiroshima@dentalpark.net

広報部担当理事 水内裕之 E-Mail: mizuuchi.shika@gmail.com

広島市歯科医師会ホームページ <http://www.hiroshima-da.com/>

会員専用ページ ユーザー名 : **Futaba**

本会PASS : **2622662**

協議会PASS : **welfare**

投稿記事締め切りは
毎月 25 日です。ご
協力をお願いします。

広島市歯科医師会の住所及び連絡先

〒732-0057

広島市東区二葉の里3丁目2番4号

広島市歯科医師会 TEL : 082-262-2662

FAX : 082-262-2668

休日診療専用電話 TEL : 082-262-2672

